

女川町の仮設団地で

雑煮汁500食を炊出し



J A 鶴岡では12月3日、役員と女性部・青年部・大泉農産加工グループのメンバー計27人が宮城県女川町を訪れ、雑煮汁の炊出しなどの支援活動を実施しました。今回の活動はJ Aの復興支援プロジェクトの一環で、通算10回目。

会場となったのは町内の高台にある運動公園で、ここには仮設住宅300戸、のべ800人の方々が生活されています。

調理担当以外の参加者は仮設住宅を一軒ずつ巡回して、バック入りの餅を手渡ししながら住民にイベントへの参加を呼びかけました。今野組合長自らが先頭に

立った炊出しには長い行列ができ、準備した500食は約1時間で完食となった他、J A青年部によるもちつき大会がイベントを盛り上げました。

また、この日は東松島市でも職員6人が参加して支援活動を行なっています。

6月から取り組んできた復興支援プロジェクトは今回で年内の活動に区切りを付け、来年3月から活動を再開する予定です。

今まで多くの皆様より温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後も引き続きご協力下さるよう、よろしくお願い申し上げます。



青年部も得意分野で支援に参加。

●12/5 参加者（女川町、東松島市）

- ◆今野毅（代表理事組合長）、田沢繁（理事参事）
- ◆石塚公美（女性部）
- ◆石田澄子、佐藤一、五十嵐喜代子、成沢良（以上、大泉農産加工グループ）
- ◆坂東陽水、小南賢史、菅原剛、佐藤和幸、五十嵐大介、本間隼平、鈴木勝（以上、青年部）
- ◆佐藤和也（企画管理部）、田中俊彦、鈴木大亮、眞田綾音（以上、企画総務課）、伊藤節子、吉田浩子、佐藤浩市（以上、経理システム課）、小泉倫子（人事課）、百瀬琢寛（本店営業課）、榎本理（営農販売部）、小野和治（園芸特産課）、加藤利彦（農業支援室）、中里慶三、岡部映子、阿部真（以上、生活課）小松浩（南支所）、佐藤満弥（大泉支所）、福原英喜（西郷支所）、木村優友（J A G 西郷店）

地元J Aへ支援金をお届けしました。

J A 鶴岡・ネットメロン専門部・だだちゃ豆専門部では、主催した復興支援ナイターでの売り上げの一部などを支援金としてJ Aいしのまきに贈呈しました。

6月から、東松島市や女川町など、J Aいしのまき管内で支援活動を続けてきたことが縁で今回の贈呈に至りました。これからもJ A間で交流を密にして、一日も早い復興に協力していきます。

